

市道9路線で1億6170万円増 損傷の少ないうちに道路補修

都市経済常任委員会の議案の審議の概要と結果です。

委員長	田上祥子(公明党)	A
副委員長	松本樹影(あつぎみらい)	B
委員	名切文梨(民進党)	C
	高田 浩(改革あつぎ)	D
	高橋知己(新政あつぎ)	E
	田口孝男(新政あつぎ)	F
	松田則康(あつぎみらい)	G

議案第68号 厚木市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例

E 森の里東に関して、製造関連施設地区では、診療所と保育所について「区域内で就業する従業員のための施設を除く」とあるが、研究開発・製造関連施設地区についてはそれがない。

建築指導課長・文書法制課長 条例で製造関連施設地区に「以下同じ」とあるので、以下同じである。

採決：賛成全員で、可決

議案第72・73・74号 市道路線の廃止および認定

議案第75・76号 市道路線の認定

E 72号の目的と日程、予算措置は。農林鳥獣担当課長 未舗装で狭く行き止まりの農道を、地元要望で大型農業機械が通行できるように整備するもの。地元との協議の結果、用地が確保できることから認定に。認定後、28・29年度に用地買収と物件補償をし、整備して、31年度に完成予定。費用は用地に2700万円、物件補償500万円、工事費が6000万円、計9200万円。

F 73号 三田小学校の東側通入口が移動。登下校の利用人数は。自動車の通行量は。交通安全の対策はされているか。

学校施設課長 登下校は11班1000人程。車両の通行は1日数十台程度。

現在、通用門の南側に飛び出し注意などの蛍光色の看板を掲げるなど、児童の交通安全の対策をとっている。今後の安全対策については、地元の協議会があり、ベンガラ塗装等の対策をとっていく。

F 74号 終点と隣接する既存の住宅との段差が大きい。落下防止措置は？道路管理課長 市の道路基準では1m以上でガードレール等の防止策をとることになっているが、現地の段差は50cmである。安全対策として反射板を設置している。

採決：一括。賛成全員で、可決

議案第77号 平成28年度厚木市一般会計補正予算(第4号)

商店街の街路灯LED化事業で260万円

F LED化、当初予算にあったか。商業にぎわい課長 ない。協議、調整できたので今回の補正。

F 6月1日に市の要綱ができたが、それとの関わりは。検証して取り組んでいるか。

課長 以前は商店街へはLED等ハーブの要綱があり、それに合わせて補助。LEDを特出しで要綱をつくった。厚木南商工クラブのすずらん通りに30基の要望があった。現在、15商店会789基の街路灯のうちLED化は40・3%である。LED化したところは電気代が5分の1ぐらいになっている。

C なぜ当初に盛り込まず補正か。来年度の計画は。

課長 補助であり、実施主体は各商店会。新年度予算で入れたいが、総会等で決定したものに対応するため、急に決まることが多く補正で対応。

道路維持補修事業で

1億6170万円増

B どの程度の傷みで補修するのか。道路維持課長 9路線。舗装の傷み等で振動の相談がある。職員が現地にいき、立って、あるいは家の中で確認。穴、沈み、クラック、段差等で車両の安全性、振動への対応など総合的なことを考え9月補正にした。

E 当初が4億1000万円、今回は1億6000万円と4割近くの補正。当初予算に反映できなかったのか。

課長 28年度予算策定時に道路維持管理先行計画に沿って予算措置している。日々パトロールや通報により状況を把握している。今回の9月補正は、昨年の予算策定時から傷みの広がりが見られたため。新しい損傷による事故があつてはいけない。限られた予算の中で、最小の経費で最大の効果を狙っている。

財政課長 予算では維持補修はその時に必要なものを計画。維持補修は日々のこと。傷みが激しくなれば臨機応変に対応。放っておくとお金がかかる。

F 横断歩道が消えている箇所も一緒にやれば白線の引き直しもできる。道路維持課長 第一に路面の状態の対応。ほかに傷みあれば今後やっていきたい。

C 都市経済の所管はいいが、補正予算全体では反対。

採決：賛成多数で、可決。反対11名

議案第78号 平成28年度厚木市公共用地取得事業特別会計補正予算(第1号) 質疑なし。

採決：賛成全員で、可決。

来年度予算要求をお寄せください

議員団控室 TEL・Fax 046(225)2709

ご住所
お名前
電話番号

10月の法律相談

10月31日(月) 1時半～

前日迄の連絡を!